

平成 29 年度 第 10 回 おおさか環境ネットワーク会議レポート

作成：事務局 堤 康郎

日時：平成 30 年 3 月 20 日(火) 18:30～20:30

場所：あべのルシアス 12 階 第 2 会議室

「第 10 回おおさか環境ネットワーク会議」では、参加団体の自主運営による活動発表・交流会「山田くん家のグリーングッドな一日」についての振り返りと、この 1 年間の「おおさか環境ネットワーク」の活動の総括、次年度の「おおさか環境ネットワーク」の運営の仕方についての意見交換がなされました。

初めての活動発表・交流会

冒頭、2 月 12 日(月・振替休日)にヤマダ電機 LABI1 なんばイベントスペースで開催された「山田くん家のグリーングッドな一日」について、都合によりご参加いただけなかった団体も含め、当日の写真を見ながら全員で振り返りました。同行事は「おおさか環境ネットワーク」「大阪市エコボランティア」「大阪市域こどもエコクラブ」が一堂に会した初めての活動発表・交流会でした。

改めて、コーディネーターチームによる当日の会場飾り付けや工夫の跡を確認すると共に、「食」「森」「街」「海」とテーマ毎のゾーニングでの様々なワークショップやポスター掲示による発表だけでなく、ステージでの発表もあり、バラエティーに富んだ内容であったことを共有しました。



山田くん家のグリーングッドな一日

当日の参加団体からは、体験型ワークショップを普段実施していないことや、このようなベテランの「大阪市エコボランティア」の皆さんや中高生が多く参加したイベントの経験がないため、新鮮な行事として映ったとの声も聞こえました。特に中高生のテキパキとした対応やステージでの堂々とした発表ぶりには大いに好感が寄せられました。

また、「こどもエコクラブ」の指導者からは、長時間のイベント運営は子どもたちにとっては大変だったが楽しく充実していたようで、大人や社会との関わりをもつことで良い経験を積むことができた、と概ね好評でした。

反省点としては、行事決定から本番まであまり時間がなかったため、準備や広報に十分な時間をとれなかった点、開催後半の時間帯に来場者が集中したため、集客にもう少し工夫が必要であった点、などが挙がりました。

次年度の運営について意見を共有

次いで、この1年間の「おおさか環境ネットワーク」の活動を、運営に携わったファシリテータのもと総括すると共に、環境局から次年度に向けた以下の方針が打ち出されました。



- ①各區で実施する環境学習講座での連携強化
- ②ネットワーク団体が連携したイベント開催(年に1回程度)

これを受け、後半のパートでは2グループに分かれて、今年度の反省点や、次年度の「おおさか環境ネットワーク」への希望や運営の仕方について意見交換がなされ、発表されました(以下参照)。



- ネットワークとしての年間スケジュールを年度初めに決めておくと、イベントなどの準備がしやすい。
- ネットワーク会議の日程も早めに決めてもらえると参加しやすい。
- 区からの要請を受けて対応するだけでなく、既存のネットワーク団体プログラム集をブラッシュアップし、ネットワーク側から能動的に提案してはどうか。

- 各区の講座の 1 回当りの経費(講師料や材料費)を事前に設定してもらえると良い。
- テーマ/ターゲット毎にネットワーク団体をチーム分けして、講座内容や提案方法を検討してはどうか。
- 環境関連の新しい知識を学べる勉強会を開催できないか
- 重点テーマを絞り込んでどうか
- 多くのテーマをそろえた方が良いのではないか



このように今年度の活動をベースに、次年度のさらなる発展に向けた意見交換が積極的になされました。

最後に、恒例の参加団体のみなさまからの積極的な行事案内・PR を経て、「第 10 回おおさか環境ネットワーク会議」は終了しました。

以上

年度初めに決めておくと、イベントなどの準備がしやすい。準備がしやすい。
体をチーム分けして、講座内容や提案方法を検討してはどうか。